

琴国後援会便り

「技量審査場所」開催

琴国「捲土重来を期して頑張りたい」

5月8日～22日



作州鏡野場所（H22.10.26～27）



を目指し、捲土重来を期して頑張りたい」と話している。

八百長問題で23人の力士らを事実上の追放とした日本相撲協会は、夏場所に代わって開くことを決めた「技量審査場所」を日程通り、5月8日～22日で開催されることになった。

土俵周囲の維持員席（計300席）などを除いた升席、イス席などが5月の場所で開催される。

2場所続けて中止となったが「技量審査場所」は、興行としては行わない方針で、次の場所に向けた番付編成を行うための、協会内部の技量審査の場として実行する。

琴国は「一つでも白星を多く重ね、上

Interview

がんばれ琴国!!

①相撲界でいろいろと問題が起き大変ですが、毎日のように過ごしていますか？

外出は控えて、稽古に打ち込む毎日です。又、部屋で募金活動の手伝いをしています。

②3月場所はなかった訳ですが、今、調子はいかがですか？

いつも通りの稽古を続けていますので順調です。

③4月24日開催の倉吉の「さくら相撲」に出させてもらえると聞きましたか？

倉吉には行かせていただきます。後援会の皆さんと会えるので、とても楽しみにしています。廣岡後援会長はじめ、後援会の皆さんには感謝しております。



がんばれ琴国!!



▶後援会事務局会議開催（4月30日）
勝山文化センターにて



まずは東日本大震災の犠牲者の方々のご冥福をお祈り致しますとともに、震災被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

大相撲界においては八百長問題、そして有史に残る大震災も重なり、場所がいつ開催されるかわからない状況の中、力士達はただひたすらに稽古に励み、部屋から出ることもままならない生活を送っていると聞いています。

さて、初場所に向けての琴国便りに平成23年度の新たに後援会員を募集しましたところ、103名（3月末日現在）の方が継続して後援会員となつていただきました。ご理解とご厚情に心より感謝致します。

今後の活動と致しましては、①番付表と琴国便りの発送②琴国帰郷の際の励ます会の開催等を行つていこうと思つています。

琴国は勝ち越せば十両も見えていた1月場所負け越し、次の場所は幕下中位で再起の土俵となります。琴国が、もう一度十両の土俵に上がる日を夢見て、琴国を応援して行きたいと思つています。

後援会編集部